

## 蟻虫の検査

現代の寄生虫としてほとんど唯一「元気」なのが蟻虫症ですが、この病気はお尻がかゆいという以外はほとんど症状がありません。

そのため、園や学校では毎年「全員もれなく」検査をします。

セロファンテープ法(欧米ではスコッチテープ法)で行いますが、コツがあります。

蟻虫が卵を生むのが夜の眠っているときなので、朝に行うこと。

起きあがると卵が落ちてしまうので、寝床でそのまま、すぐに行うこと。1日では足りないので、2日間続けて行うこと(もっと続けて行うと、さらに見つかるという報告もあります)。

形だけ行っていても、きちんとできていないと、誤って「正常」という結果がでることもあり、注意して下さい。

## 蟻虫症

昔はいろんな種類の、そして怖い寄生虫の病気がありましたが、今はわずかに蟻虫が残っている程度。

園や学校では、毎年蟻虫の検査をしますが、意外と保有率は高く、まだ「絶滅」まではいきそうにありません。



# 蟻虫症



蟻虫は、長さ1cmほどの白い寄生虫（糸くずみたい）で、夜間眠っているあいだに肛門周辺に卵を産みつけます。それがお尻（肛門）のかゆみの原因になるのですが、お腹の痛みや他の症状をあこすことは、まずありません。また、肛門からこぼれ落ちた卵がほかの人の口に入り、蟻虫症が移っていきます。

以前は家族内での感染が多かったのですが、今は保育園や幼稚園、学校といった子どもたちの集団の中で感染することが多くなりました。検査で蟻虫がいるという結果がでたときは、とりあえずその子の治療を行いますが、くりかえし出したり、きょうだいそろって出ているときは、家族全員の検査や治療が必要です。



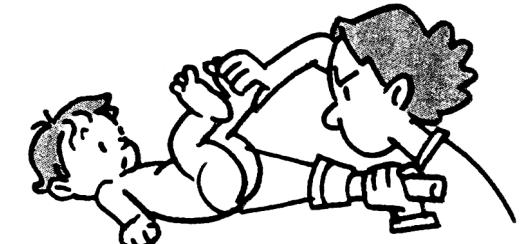
## 治療

コンバントリンという駆虫剤を内服します。1回の内服で90%ほどの効果がありますが、本当に蟻虫がいなくなつたかどうかを確かめるために、1～2週間後にもう一度検査（セロファンテープ法、2日連続）を行います。くりかえし虫がでている子は、何日か続けて薬を飲んだり、時間をおいてあとでもう一度飲んだりすることがあります。



## 家庭で気をつけること

- ① 寝具や下着はいつも清潔にしておきましょう。
- ② 爪は短くし、排便後は必ず手洗いをしましょう。
- ③ できれば毎朝の入浴かシャワーを。



夜、お尻をかゆがったらすぐに見てみよう  
蟻虫がみつかる

## ◆あなたの治療と検査の計画

コンバントリン内服・・・ 月 日

セロファンテープ検査・・・ 月 日、 日  
(2回目の日に、外来にお持ち下さい。その場で検査結果をお話しします。)

今回は、家族全員の（検査・治療）を（します・しません）。